

米子工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	日本事情	
科目基礎情報							
科目番号		0048		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		電気情報工学科		対象学年		3	
開設期		通年		週時間数		2	
教科書/教材		毎回プリントを配布					
担当教員		布施 圭司,笹間 政典					
到達目標							
1) 公式な文章と、くだけた会話調の文章の違いがわかるようになること。 2) 簡単なニュースや新聞の日本語が理解できるようになること。 3) 漢字混じりの簡単な日本語がフォーマルな文体で書けるようになること。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		文章の違いが分かるようになる。		文章の違いがやや分かるようになる。		文章の違いが判らない。	
評価項目2		新聞が理解できる。		新聞がやや理解できる。		新聞が分からない。	
評価項目3		フォーマルな文体で書ける。		フォーマルな文体で少し書ける。		フォーマルな文体で書けない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A							
教育方法等							
概要		日本語の基礎を習得した留学生を対象に、読解および作文に重点を置いて、さらに日本語能力を発展させることを目指す。教授法は原則として日本語を日本語で教える直接法とし、類似表現や言い換えの表現などにも慣れるようにする。					
授業の進め方・方法		新聞記事や技術系の一般向け書籍、中級程度の日本語テキストを用いて文章の読解を行うとともに、適宜宿題として日本語作文の課題を与え、添削、フィードバックすることにより作文能力を高める。					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	文章の細部にわたる正確な理解		文章の細部にわたる正確な表現について知識を得る		
		2週	文章の細部にわたる正確な理解		文章の細部にわたる正確な表現について知識を得る		
		3週	文章の細部にわたる正確な理解		文章の細部にわたる正確な表現について知識を得る		
		4週	文章の細部にわたる正確な理解		文章の細部にわたる正確な表現について知識を得る		
		5週	文章の細部にわたる正確な理解		文章の細部にわたる正確な表現について知識を得る		
		6週	文章の細部にわたる正確な理解		文章の細部にわたる正確な表現について知識を得る		
		7週	文章の細部にわたる正確な理解		文章の細部にわたる正確な表現について知識を得る		
		8週	前期中間試験		前期中間試験に取り組み、到達目標を確認する		
	2ndQ	9週	文章の細部にわたる正確な理解		文章の細部にわたる正確な表現について知識を得る		
		10週	文章の細部にわたる正確な理解		文章の細部にわたる正確な表現について知識を得る		
		11週	要旨の把握と内容についての討論		要旨の把握と内容について討論し、知識を得る		
		12週	要旨の把握と内容についての討論		要旨の把握と内容について討論し、知識を得る		
		13週	要旨の把握と内容についての討論		要旨の把握と内容について討論し、知識を得る		
		14週	要旨の把握と内容についての討論		要旨の把握と内容について討論し、知識を得る		
		15週	前期末試験		到達目標の確認		
		16週	答案返却とまとめ		試験の解説と回答		
後期	3rdQ	1週	文章の細部にわたる正確な理解		文章の細部にわたる正確な表現について知識を得る		
		2週	文章の細部にわたる正確な理解		文章の細部にわたる正確な表現について知識を得る		
		3週	文章の細部にわたる正確な理解		文章の細部にわたる正確な表現について知識を得る		
		4週	文章の細部にわたる正確な理解		文章の細部にわたる正確な表現について知識を得る		
		5週	文章の細部にわたる正確な理解		文章の細部にわたる正確な表現について知識を得る		
		6週	文章の細部にわたる正確な理解		文章の細部にわたる正確な表現について知識を得る		
		7週	文章の細部にわたる正確な理解		文章の細部にわたる正確な表現について知識を得る		
		8週	後期中間試験		後期中間試験に取り組み、到達目標を確認する		
	4thQ	9週	文章の細部にわたる正確な理解		文章の細部にわたる正確な表現について知識を得る		
		10週	文章の細部にわたる正確な理解		文章の細部にわたる正確な表現について知識を得る		
		11週	要旨の把握と内容についての討論		要旨の把握と内容について討論し、知識を得る		
		12週	要旨の把握と内容についての討論		要旨の把握と内容について討論し、知識を得る		
		13週	要旨の把握と内容についての討論		要旨の把握と内容について討論し、知識を得る		
		14週	要旨の把握と内容についての討論		要旨の把握と内容について討論し、知識を得る		
		15週	学年末試験		到達目標の確認		
		16週	答案返却とまとめ		試験の解説と回答		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。		1	

			論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	1	
			文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	1	
			常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	1	
			類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	1	
			社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	1	
			専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	1	
			実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	1	
			報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	1	
			収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	1	
			報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	1	
			作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	1	
			課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	1	
			相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	1	
			新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	1	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0